

受付番号

2022-23

許可番号

大歯医倫 第 111231-0 号

研究課題名

インプラント最終上部構造が隣接歯の接触距離に及ぼす因子について

研究責任者

馬場 俊輔

申請者

若田 陽

研究終了日

2027年3月31日

所属

口腔インプラント学講座

所属

歯学研究科

口腔インプラント学専攻

職名

主任教授

職名

大学院1年生

申請の概要

近年インプラント治療後に、経年的にコンタクトロス（インプラントで使用する人工歯と、人工歯に隣接する天然歯との間に隙間が生じること）が生じているのではないかと指摘されているが、その詳細については明らかになっていない。そこで、本研究では、10 μ m 単位のコンタクトゲージを作製し、それを用いてインプラント体上部構造と、隣接歯との距離を計測することにより、コンタクトロスが実際にどれほど生じているのか、また、なぜ生じているのか性差、上部構造装着後の経過年数、咬合関係、咬合力等と比較し検討していくことで明らかにすることを目的とする。本研究により、コンタクトロスについて詳細を明らかにすることができれば、上部構造の設計時に事前に考慮できる。